

第5節 産業振興課

〔総括概要〕

大平地域の農業は、水田地帯では米麦の二毛作を中心として、いちご、ニラ、トマト等の施設園芸農業や、肉牛肥育、酪農、養豚等の畜産業が実施され、畑作地帯（樹園地を含む）においては、ぶどう、なし、野菜等の営農が展開されている。担い手の多くは、首都圏に位置する立地条件を活かし、生産性の高い、いちご、ニラ、トマト、ぶどう等の施設園芸と、基幹作物の米麦を組み合わせた複合経営が中心である。施設園芸農家においては、後継者の就農も多く家族経営のなかで、今後の規模拡大が期待される。

一方、米麦を主とする土地利用型農業では、農用地の利用集積により大規模化が進んでいるものの、米麦の価格が下落傾向にあり、依然として厳しい状況にある。

また、小規模経営農家においても、経営主の高齢化、兼業化により離農者が増えつつある。

このような中、栃木市農業再生協議会と連携した経営所得安定対策の推進により、農家の方が安心して農業に従事できる環境づくりを進めた。

また、集落における話し合いをもとに策定した人・農地プラン（地域農業マスタープラン）により、担い手への農地の利用集積の促進、青年就農者の定着支援を行った。

土地基盤整備事業は、昭和34年から始まり平成2年にはほぼ完了し、整備率は98.7%である。この基盤整備の済んだ優良農地を長期的に有効利用し、首都圏農業をさらに推進する為に、本地域の特産物であるいちご、ニラ、トマト、ぶどう等の生産技術の向上と流通体制の整備を進め、都市型農業への定着を図った。また、土地利用型農業は、さらに担い手への土地利用集積を推進し、水田の高度利用を図り、安定的な経営を目指した。

一方、国土の保全・水源のかん養等、森林の有する公益的機能を十全に発揮させるためには、将来にわたって、森林を適正に整備し保全する必要があるため、県補助金を活用し、森林整備が適切に行われるよう事業を推進した。

また、林道については、林業の生産性向上を図る機能とともに、観光客等も通行することから、草刈や落ち葉浚い等による適正な維持管理を行った。

商工業関係については、地域の商工業の総合的な改善発展を目指し、大平町商工会と連携のうえ商工業者の育成・支援をはじめとする諸事業を開催し、中小企業の育成と経営品質の向上に向けた取組を推進した。

観光関係については、太平山自然公園の南山麓に広がる豊かな自然、大中寺、清水寺、東山道などの史跡、及び約60の観光ぶどう園などの観光資源を有効に活用し、ぶどう袋かけ体験など地域の自発的な取り組みや、特性を活かす体験型観光に取り組んだ。

農林振興担当

1 経営所得安定対策

食料自給率の向上を図るとともに、農業の有する多面的機能が将来にわたって適切かつ十分に発揮されるために、経営所得安定対策の推進により、意欲ある農業者が農業を継続できる環境を整え、地域農業の活性化を図った。

(1) 米の直接支払交付金

大平地域に提供された平成25年産米に係る需要情報は4,268トンであり、米の需給均衡と価格の安定を目的として、栃木市農業再生協議会と連携し、農業者及び農業者団体と一体となった生産調整推進の取組を行った。

・水稲生産確定数量・面積及び作付実績

対象農業者数	1,209人
水稲生産実施計画書提出農業者数	788人
生産確定数量の計	3,787,232kg
作付確定面積(①)	752,926.7a
主食用等水稲作付面積の計(②)	737,082.2a
差引(①-②)	15,844.5a
水稲生産確定面積に対する 主食用等水稲作付面積の割合(②÷①)	97.9%

(2) 水田活用の直接支払交付金

・戦略作物作付面積(交付対象面積) (単位:ha)

二条大麦	659.3
小麦	11.9
大豆	75.9
そば	0.4
飼料作物	—
新規需要米・加工用米	230.0

(3) 農業再生協議会集落推進員会議

経営所得安定対策の円滑な推進と農業者への情報提供を図るため、栃木市農業再生協議会との連携により、農政協力員等会議を開催した。

・農政協力員等会議の開催状況

開催日	参加者数(人)
5月9日(木)	41
6月27日(木)	41
3月6日(木)	39

2 農業団体育成事業

本市農業の振興と地域社会の発展に寄与することを目的に、各種農業団体への指導、育成及び支援を行った。

(1) 大平町認定農業者連絡協議会補助金

栃木市農業経営基盤強化基本構想に掲げる効率的かつ安定的な農業経営を実践する認定農業者の育成を図ることを目的として、団体組織に係る運営活動、交流、情報交換活動、経営改善に向けた相互研さん活動に対し助成を行った。また、大平町認定農業者連絡協議会は、平成26年3月に栃木市認定農業者協議会の設立により大平支部となった。

・補助額 31,000円

(2) 栃木市農村生活研究グループ協議会大平支部

大平支部では会員相互の親睦協調を図り、グループ活動によって生活の合理化を推進し、お互いの教養を高め合い、農家生活の近代化に役立つことを目的として、農産加工品の講習会やイベントへの出店及び研修会を行った。

3 集落営農の法人化推進

(1) 栃木市集落営農組織連絡協議会の運営

大平地域内の7つの集落営農組合に都賀地域の升塚集落営農組合を加えた栃木市集落営農組織連絡協議会の事業を通して、集落営農組織の経営の効率化と法人化の推進を図った。

ア 升塚集落営農組合の法人化

- ・農事組合法人ファームますづか
- ・創立日 平成25年12月3日

イ 集落営農組織法人化についての勉強会開催

- ・参加者 35人

ウ 視察研修の実施

- ・研修先 栃木県大田原市農事組合法人グリーンリーフのざき
- ・参加者 20人

4 おおひら産業祭事業

農業・商業・工業・観光業の活性化を図るべく、地元で栽培された農産物及び地元で生産された商品のPR、展示、即売会の実施並びに生産者と消費者の交流及び大平地域における産業の発展に寄与するため、おおひら産業祭を実施した。

- ・主催者 おおひら産業祭実行委員会
- ・共催 大平町商工会・JAしもつけ大平地区営農経済センター
栃木県信用保証協会
- ・実施日 11月23日(土) 午前9時30分～午後3時
- ・会場 大平運動公園
- ・来場者 約8,000人

5 栃木市畜産協議会大平支部

会員の相互連携を基調として、継続的・安定的な畜産経営を図るとともに、畜産振興及び家畜防疫事業の実践を図るための事業を実施した。

- ・事業内容 おおひら産業祭での県産豚焼肉等のチャリティー配布

6 農産物加工施設の管理運営事業

地産地消、農村の活性化、担い手の育成等を図るとともに、多くの市民に地元の農業に関心を持っていただくための農産加工所は、主に地元の農産物を使用したみそ加工、ぶどうジャム作り等に利用された。

施設名	利用日数(日)	利用人数(人)
大平農村婦人の家	77	143
大平西地区農産加工所	214	561

7 農地・水保全管理事業（旧農地・水・環境保全向上対策事業）

農地や水、環境を良好に保全するための地域ぐるみの共同活動への取組を支援した。※市負担額は、基礎支援の合算額（100円未満切り捨て）の25%

- ・共同活動支援

活動組織名	協定期間			基礎支援				市負担額 (円)
	締結 年度	終了 年度	交付 期間	田 (3,300円/10a)		畑 (2,100円/10a)		
				面積(a)	金額(円)	面積(a)	金額(円)	
西山田自然環境保全会	H24	H28	5	8,877	2,929,410	7,019	1,473,990	1,100,850
富田七環境保全会	H24	H28	5	4,537	1,497,210	105	22,050	379,800
お楽の里下高島	H24	H28	5	7,262	2,396,460	89	18,690	603,775
真弓南環境保全会	H24	H28	5	6,298	2,078,340	36	7,560	521,475
西水代環境保全会	H24	H28	5	10,446	3,447,180	197	41,370	872,125
あらい水と緑の会	H24	H28	5	9,924	3,274,920	62	13,020	821,975
上高島環境保全会	H24	H28	5	5,138	1,695,540	160	33,600	432,275

8 土地改良事業等補助金

各事業に取り組む下記団体を支援するため、補助金を交付した。

(単位：円)

事業名	土地改良区(箇所) 事業内容	事業費	補助額
県単独農業農村整	大美間土地改良区(土与地区)	4,412,100	2,200,000

備事業	柚井木川水路改修 延長 43m		内市負担分 (800,000)
農業基盤整備促進 事業(H24 繰越)	大美間土地改良区(上高島地区) 揚水機場更新 1箇所	3,106,950	310,000
市単独土地改良事 業(かんがい排水)	大美間土地改良区(榎本地区) 揚水機場更新 1箇所	1,207,500	241,500
	大平西部土地改良区(富田地区) 基幹排水路揚水機更新 1箇所	343,560	68,712
	大平西部土地改良区(富田地区) 揚水機場整備 1箇所	200,000	40,000
	大平西部土地改良区(富田地区) 揚水機場更新 1箇所	1,150,000	230,000
	伯仲水利組合(伯仲地区) 揚水機場更新 1箇所	2,142,000	428,400
	水代新水利組合(水代新地区) 揚水機場更新 1箇所	882,000	176,400

9 市単独農業農村整備事業

豪雨時における浸水被害対策を行うため、水路の改修工事を実施した。

- ・事業名 瀬戸ヶ原用水下流排水路(幹排2号)改修工事
- ・工事箇所 大平町川連・土与地内
- ・工事費 14,280,000円
- ・工事内容 工事延長288m(逆L型擁壁設置、ボックスカルバート設置)

10 治山林道事業

林道の維持管理業務として、除草業務や舗装の修繕工事等を実施した。

- (1) 林道下皆川線・大中寺下皆川線除草業務委託
 - ・委託費 357,565円
 - ・事業内容 延長3.2km×幅1.4m
- (2) 林道西山田線除草業務委託
 - ・委託費 392,613円
 - ・事業内容 延長4.0km×幅1.4m
- (3) 林道下皆川線・大中寺下皆川線維持管理業務委託
 - ・委託費 292,600円
 - ・事業内容 堆積した落ち葉の除去等
- (4) 林道西山田線維持管理業務委託
 - ・委託費 493,500円
 - ・事業内容 堆積した落ち葉の除去等
- (5) 林道西山田線標識設置工事

- ・工事費 82,950円
- (6) 林道修繕工事（舗装修繕等3件） 556,899円

11 とちぎの元気な森づくり推進交付金事業

平成20年度から元気な森づくり推進市町村交付金事業（とちぎの元気な森づくり県民税事業）に取り組み、荒廃した里山の整備を実施した。

(1) 生活環境保全林維持管理業務委託（下草刈り、除伐等）

- ・実施箇所 大平町西山田地内（片岡山）
- ・事業量 11.3ha
- ・委託費 973,350円

(2) 将来まで守り育てる里山林管理事業

NPO法人太平山南山麓友の会による里山の維持管理活動を補助金により支援した。

- ・実施箇所 大平町西山田・下皆川地内
- ・事業量 6.9ha
- ・補助額 345,000円（1ha当たり50,000円）

(3) 通学路や住宅周辺の安心・安全確保のための里山林整備事業

NPO法人太平山南山麓友の会による里山の維持管理活動を補助金により支援した。

- ・実施箇所 大平町西山田地内（大平西小通学路周辺の山林）
- ・事業量 1.3ha
- ・補助額 65,000円（1ha当たり50,000円）

12 松くい虫防除委託事業

松くい虫被害対策として、高度公益機能森林及び地区保全森林への被害拡大を防ぐために補助事業を活用し、春には予防事業として地上散布、冬には駆除事業として衛生伐を実施した。

事業区分	委託期間	実施箇所	事業量	事業費(円)	備考
地上散布	6月10日(月)	片岡山	4.1ha	491,400	県単
		大平運動公園他	2.0ha	243,600	市単
衛生伐	1月6日(月)～ 2月24日(月)	西山田地区	被害木の除去 32 m ³ 不用木の除去 36本	745,500	県単

13 有害鳥獣対策事業

有害鳥獣による農作物被害や生活環境被害等を防止するため、地元猟友会の協力を得て、有害鳥獣捕獲を実施した。

- ・イノシシの個体調整による駆除

実施区域	捕獲時期	捕獲状況
大平地域全域	10月1日(火)～3月31日(月)	11頭

商工観光担当

1 商工業振興

(1) 商工団体の育成及び助成

商工会の諸事業に助成を行った。

(単位：円)

名 称	事 業 費	補助額	備 考
大平町商工会事業費補助金	52,416,103	8,000,000	経営改善普及事業 地域総合振興事業

(2) 産業振興活動支援

大平地域内の商業・工業・農業及び観光等に関わる機関・団体等が行う産業振興のための意欲的な取組に対して支援を行った。

(単位：円)

名 称	事 業 費	補助額	備 考
産業振興活動支援事業補助金	111,099	50,000	富田地区中心市街地商業 振興会事業費助成

2 中心市街地活性化

大平地域内（旧大平町）では平成16年3月に策定した中心市街地活性化基本計画による中心市街地活性化支援として、また、平成17年10月に策定した大平町TMO構想による、「中心市街地の賑わいと活力を創出するためのまちづくり事業」のひとつとして、設置したまちづくり交流センター（通称プラッツおおひら）の管理運営を平成22年4月から指定管理者である㈱プラッツおおひらに委託し、中心市街地活性化の支援を行っている。

(1) まちづくり交流センター利用者総数

	平成25年度	平成24年度	平成23年度
営業日数(日)	308	313	316
利用者数(人)	115,587	116,694	92,781
1日平均(人)	375	373	294

(2) まちづくり交流センター施設利用状況

		平成25年度	平成24年度	平成23年度
多目的ルームA	使用時間(時間)	377	460	321
	稼働率(%)	11.1	13.2	9.2
多目的ルームB	使用時間(時間)	801	956	930
	稼働率(%)	23.5	27.7	26.8
遮音スタジオ	使用時間(時間)	1,664	2,256	2,195
	稼働率(%)	49.1	65.5	63.2
交流サロン	使用時間(時間)	133	30	739
	稼働率(%)	3.9	0.9	21.2

3 工場立地法に基づく届出について

工場等の適正な操業環境の保全を図るため、工場立地法に基づき、工場立地に関する準則との適合を審査・指導した。

- ・届出件数 4件（日立アプライアンス(株)、日立レフテクノ(株)の変更届出)

4 みずほ企業団地ふれあい協議会

団地内の各企業と地元の三地区（横堀、下高島、上高島）自治会で、企業団地と地元に関する諸問題を解決するための話し合いを年2回（4月19日(金)、12月6日(金)）開催した。

5 観光振興宣伝事業

豊かな自然と歴史のある観光資源を生かすために、観光パンフレット等を制作・配布するとともに、各種観光展等への出展や観光キャンペーンを実施し、さらに、マスメディアの活用を行うなど観光宣伝事業を積極的に展開し、観光誘客に努めた。

(1) 観光パンフレット等の制作・配布

太平山&晃石山を歩こう！！（ハイキングマップ）

(2) 観光展等への出展

ア 東武ハイキングへの協力

- ・実施日 9月21日（土）
- ・場 所 太平山南山麓

イ 「やすらぎの栃木路」東京フェア2013への参加

- ・実施日 9月22日（日）
- ・場 所 新宿駅西口（東京都新宿区）

(3) 観光キャンペーン等

ア ぶどう袋かけ収穫体験

- ・実施日 7月6日（土）・9月8日（日）
- ・場 所 かかしの里

イ ぶどう狩りキャンペーン

- ・実施日 7月7日（日）
- ・場 所 東武浅草駅・北千住駅

ウ ぶどうジャムづくり体験

- ・実施日 9月22日（日）
- ・場 所 大平西地区農産加工所

6 観光行事推進事業

大平地域を県内外に宣伝し、産業と観光の振興を図るため、下記の行事を実施した。

(1) なつこい

- ・実施日 7月27日（土）
- ・場 所 大平運動公園さくら球場
- ・主 催 なつこい実行委員会

- ・共 催 栃木市
- ・来場者 約8,000人
- (2) 光と音のページェント
 - ・実施期間 11月29日（金）～1月12日（日） 午後5時～午後11時
 - ・場 所 新大平下駅東口周辺、プラッツおおひら
 - ・主 催 光と音のページェント実行委員会
 - ・共 催 栃木市
 - ・来 場 者 約19,300人

7 ハイキングコース管理事業

- (1) 首都圏自然歩道管理事業
 - ・かかしの里ぶどうの道、桜咲くパノラマの道、稜線をたどる道（延長11.9km）
- (2) 歩道ハイキングコース
 - ・清水寺～晃石山、大中寺～太平山（延長1.4km）

8 観光施設管理事業

- ・大中寺の森緑地管理
- ・清水寺の森緑地管理
- ・かかしの里緑地管理
- ・かかしの里受付業務等管理
- ・大中寺の森トイレ維持管理
- ・清水寺の森トイレ維持管理
- ・林道下皆川線屋外トイレ維持管理
- ・林道下皆川線あずまや維持管理